

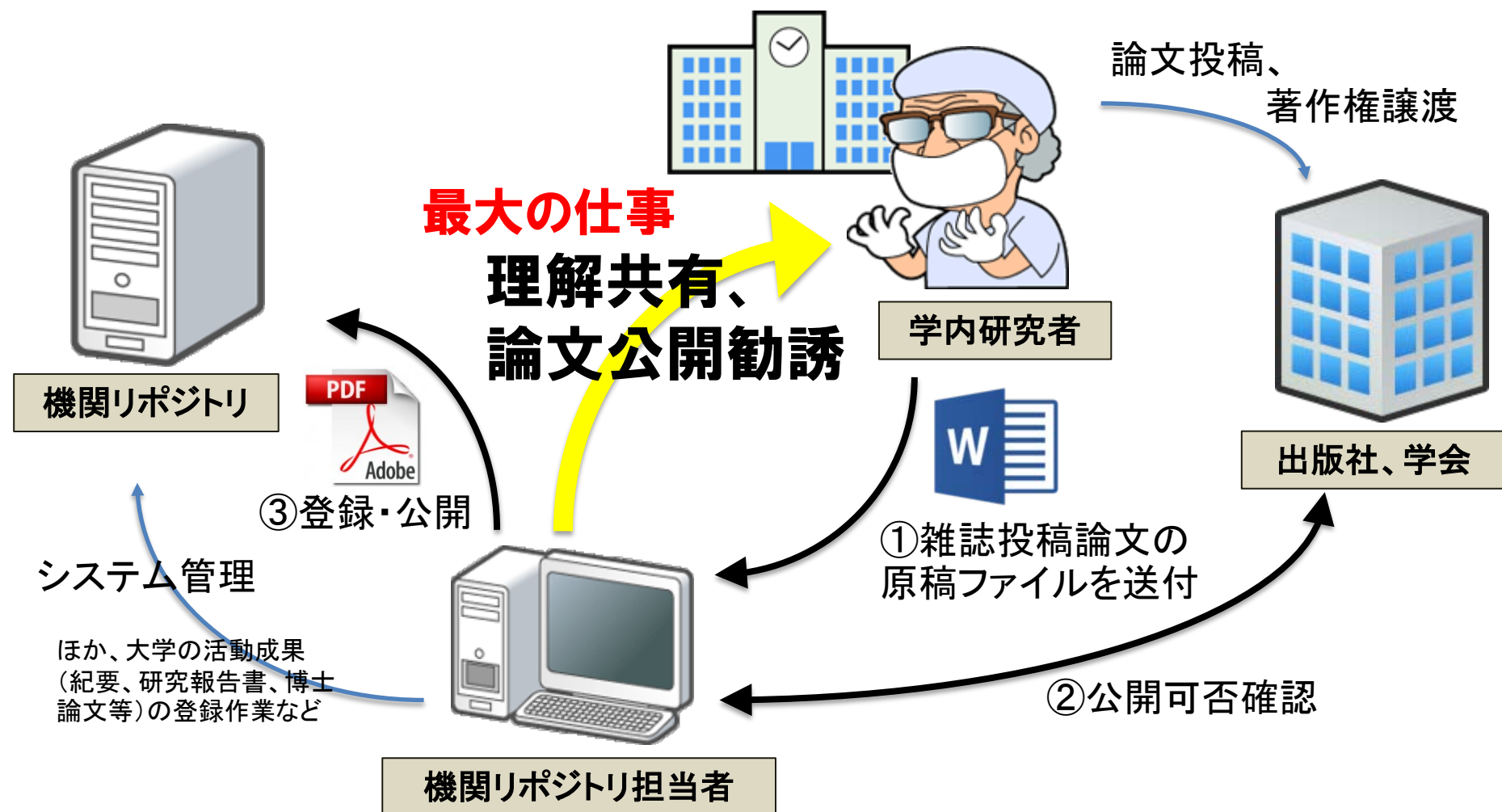
# システム管理とメタデータ

機関リポジトリ新任担当者研修テキスト

機関リポジトリ推進委員会

平成27年度

# 機関リポジトリ業務とは



# 本講の内容

- リポジトリと他システムとの連携の仕組み
  - メタデータ、OAI-PMH、junii2、クロスウォーク
  - IRDB、CiNii、国立国会図書館、OAIster
  - DOI
- 担当者がすること
  - プロバイダリストへの登録(最初だけ)
  - システム的な確認・対処(日常的に)
    - OAI-PMHデータの確認
    - 削除してよいかよく考えよう
    - ログのチェック

業者と基本的なコミュニケーションがとれるよう

# 本講の内容

- リポジトリと他システムとの連携の仕組み
  - メタデータ、OAI-PMH、junii2、クロスウォーク
  - IRDB、CiNii、国立国会図書館、OAIster
  - DOI
- 担当者がすること
  - プロバイダリストへの登録(最初だけ)
  - システム的な確認・対処(日常的に)
    - OAI-PMHデータの確認
    - 削除してよいかよく考えよう
    - ログのチェック

# メタデータ

- 目録の書誌項目のこと
- つまり、
  - 論文タイトル
  - 著者名
  - 掲載誌名
  - 抄録                      等々
- 「目録規則」はない＝各機関で設計可

# 各リポジトリのメタデータ

ID	2008078674
アイテムタイプ	Article
このアイテムを表示する	<div>本文</div> <div>2008078674.pdf</div> <div>Type : application/pdf</div> <div>Size : 696.2 KB</div> <div>Last updated : Jul 11, 2008</div> <div>Downloads : 18013</div> <div>Total downloads since Jul 11, 2008 : 1</div>
タイトル	【歩行】歩行の神経機構Review
著者	高草木薫 (Takakusaki Kaoru)
上位タイトル	Brain Medical Vol.19, No.4 (2007. 12) ,p.307- 315
識別番号	ISSN 915-5759
抄録	歩行には3つのプロセスがある。第1は、正確な制御を必要とするであり、これは大脳皮質からの随意的な信号により遂行される。逃避、逃走など情動的プロセスであり、辺縁系や視床下部から脳とつながる。第2は、歩行時のリズムカルな肢運動や姿勢調節など、自動的プロセスであり、脳幹と脊髄におけるsensori-motor loopが重要な役割を果たす。大脳基底核や小脳は、大脳皮質、辺縁系と脳幹に作用して歩行を制御する。
キーワード	歩行誘発野、Central pattern generator、姿勢筋緊張、大脳皮質、脳性歩行失調
注記	著者版
言語	jpn
資源タイプ	text
ジャンル	Journal Article



フルテキスト

20120324\_sympo.pdf 1.37 MB PDF 見る/開く

タイトル: 糖尿病患者の歯周病 - 糖尿病教育入院患者における分析

著者: 根岸 淳

発行日: 2012年 3月24日

引用: 糖尿病と歯周病に関わる医科・歯科合同シンポジウム / 北海道歯科医師会, 平成24年3月24日, 札幌市, 札幌グランドホテル2階 金枝の間

記述: 発表者: 根岸 淳

資料タイプ: lecture

URI: <http://hdl.handle.net/2115/50052>

出現コレクション: [雑誌発表論文等 \(Peer-reviewed Journal Articles, etc.\)](#)

資料の詳細レコードを表示する

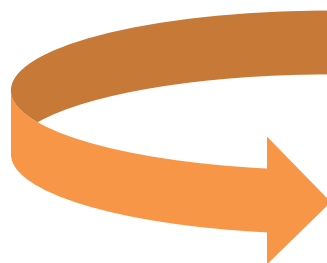
提供者: 根岸 淳

この文献へのリンクには <http://hdl.handle.net/2115/50052>



# OAI-PMH、ハーベスト

- リポジトリの特徴：相互運用性＝メタデータを、OAI-PMHに対応している他システムに（要求により）渡せる
- OAI-PMH＝Open Archives Initiative Protocol for Metadata Harvesting



ハーベスト  
(＝刈り取り)



サービスプロバイダ

通信上の手順  
や約束事  
の取りきめ

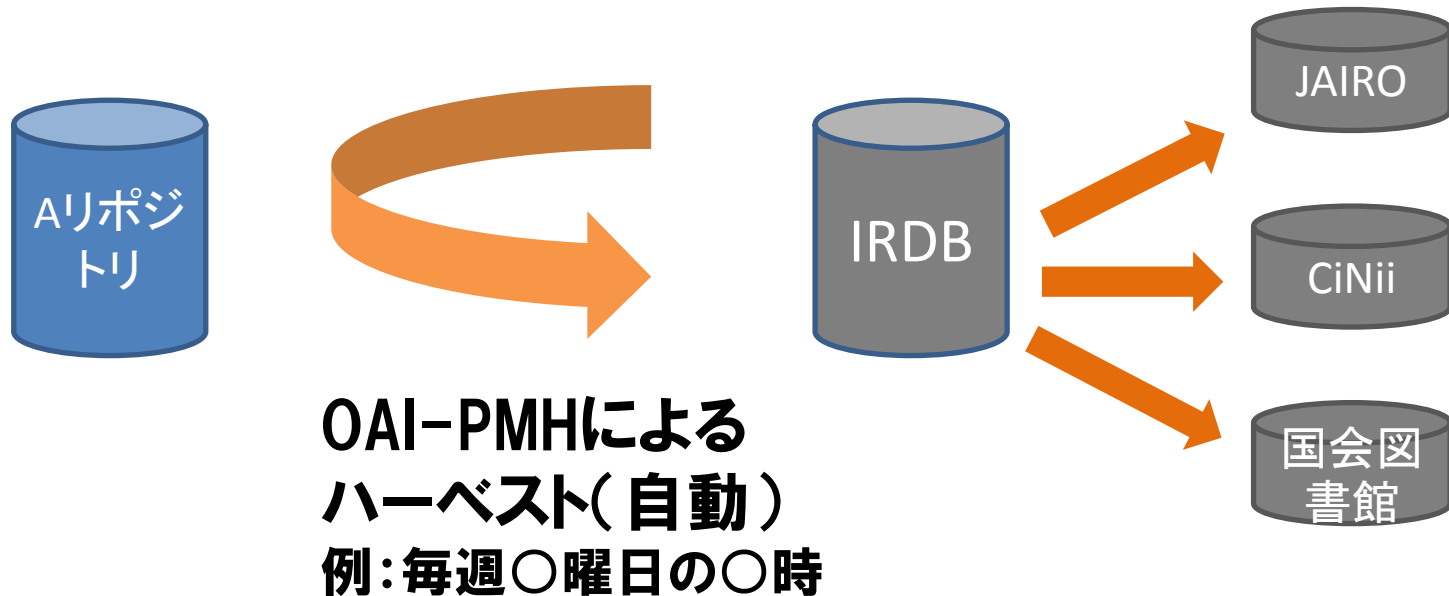
# OAI-PMH

This XML file does not appear to have any style information associated with it. The document tree is shown below.

```
▼<OAI-PMH xmlns="http://www.openarchives.org/OAI/2.0/" xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-
instance" xsi:schemaLocation="http://www.openarchives.org/OAI/2.0/
http://www.openarchives.org/OAI/2.0/OAI-PMH.xsd">
  <responseDate>2012-09-16T12:37:18Z</responseDate>
  <request metadataPrefix="junii2" verb="ListRecords">http://barrel.ih.otaru-uc.ac.jp/dspace-
oai/request</request>
  ▼<ListRecords>
    ▼<record>
      ▼<header>
        <identifier>oai:barrel.ih.otaru-uc.ac.jp:10252/25</identifier>
        <datestamp>2008-05-27T02:53:26Z</datestamp>
        <setSpec>hdl_10252_17</setSpec>
        <setSpec>hdl_10252_8</setSpec>
      </header>
      ▼<metadata>
        ▼<junii2 xmlns="http://irdb.nii.ac.jp/oai" xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:schemaLocation="http://irdb.nii.ac.jp/oai http://irdb.nii.ac.jp/oai/junii2.xsd">
          <title>独立行政法人会計基準の特色</title>
          <creator>渡邊, 和夫</creator>
          <NIIsubject>ビジネス・経営・産業</NIIsubject>
          <NDC>343.8</NDC>
          <NDC>336.9</NDC>
          <publisher>会計検査院</publisher>
          <NIItype>Journal Article</NIItype>
          <format>application/pdf</format>
          <URI>http://hdl.handle.net/10252/25</URI>
          ▼<fullTextURL>
            http://barrel.ih.otaru-uc.ac.jp/bitstream/10252/25/15/%e4%bc%9a%e6%a4%9c%e7%a0%9425_9-21.pdf
          </fullTextURL>
          <issn>0915-521X</issn>
          <jtitle>会計検査研究</jtitle>
          <volume>25</volume>
          <spage>9</spage>
          <epage>21</epage>
          <dateofissued>2002-03</dateofissued>
          <language>jpn</language>
          <textversion>publisher</textversion>
        </junii2>
      </metadata>
    </record>
```

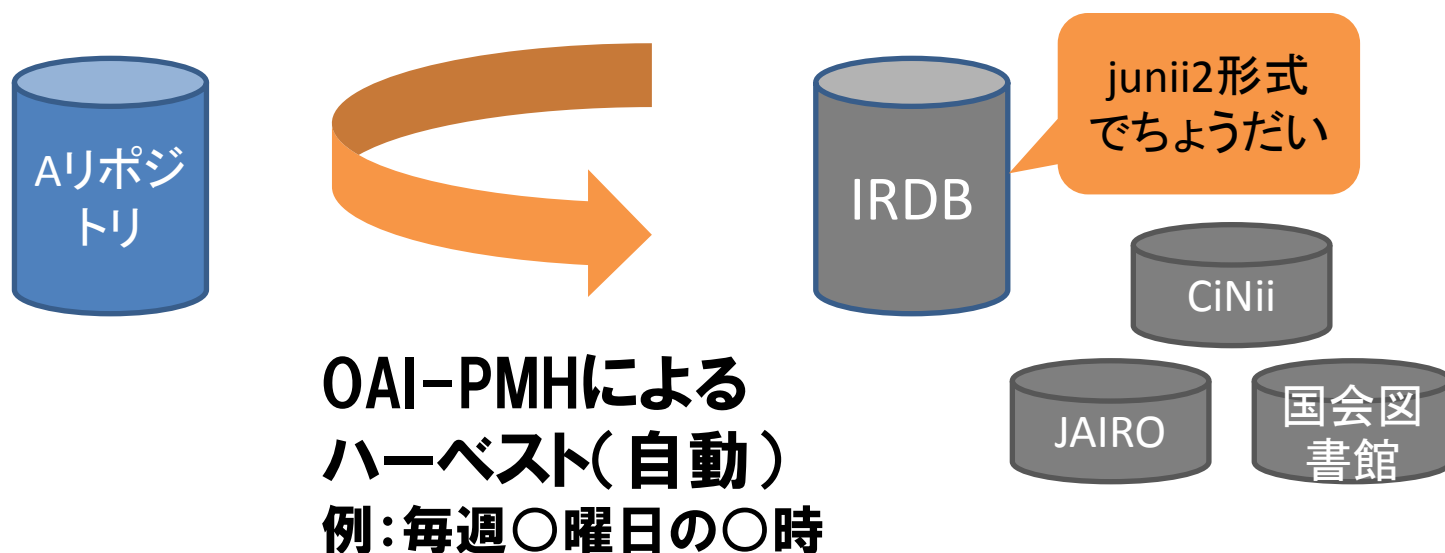
# IRDB

- 学術機関リポジトリデータベース (NII)
  - CiNiiや国会図書館にはIRDBからデータが行く



# junii2

- サービスプロバイダIRDBが求めるデータ形式



# IRDB

- <http://irdb.nii.ac.jp/analysis/index.php>

**IRDB**コンテンツ分析  
NII Institutional Repositories DataBase Contents Analysis

[IRDBコンテンツ分析について](#) [ヘルプ](#) [お知らせ](#)  
[お問い合わせ](#) [English](#)

機関名等から検索:

IRDB(Institutional Repositories DataBase:学術機関リポジトリデータベース)コンテンツ分析システムでは、各IRの詳細情報、コンテンツ内容の統計分析情報を提供しています。  
[詳細](#)

分析対象:  
IRDB/ハーベスト機関リポジトリ数:470、コンテンツ数 全体:2,049,874件、本文あり:1,519,176件  
(2015/04/30)

**コンテンツ増減**

すべて ▼

 表示する年度を選択できます。 

本文あり ▼

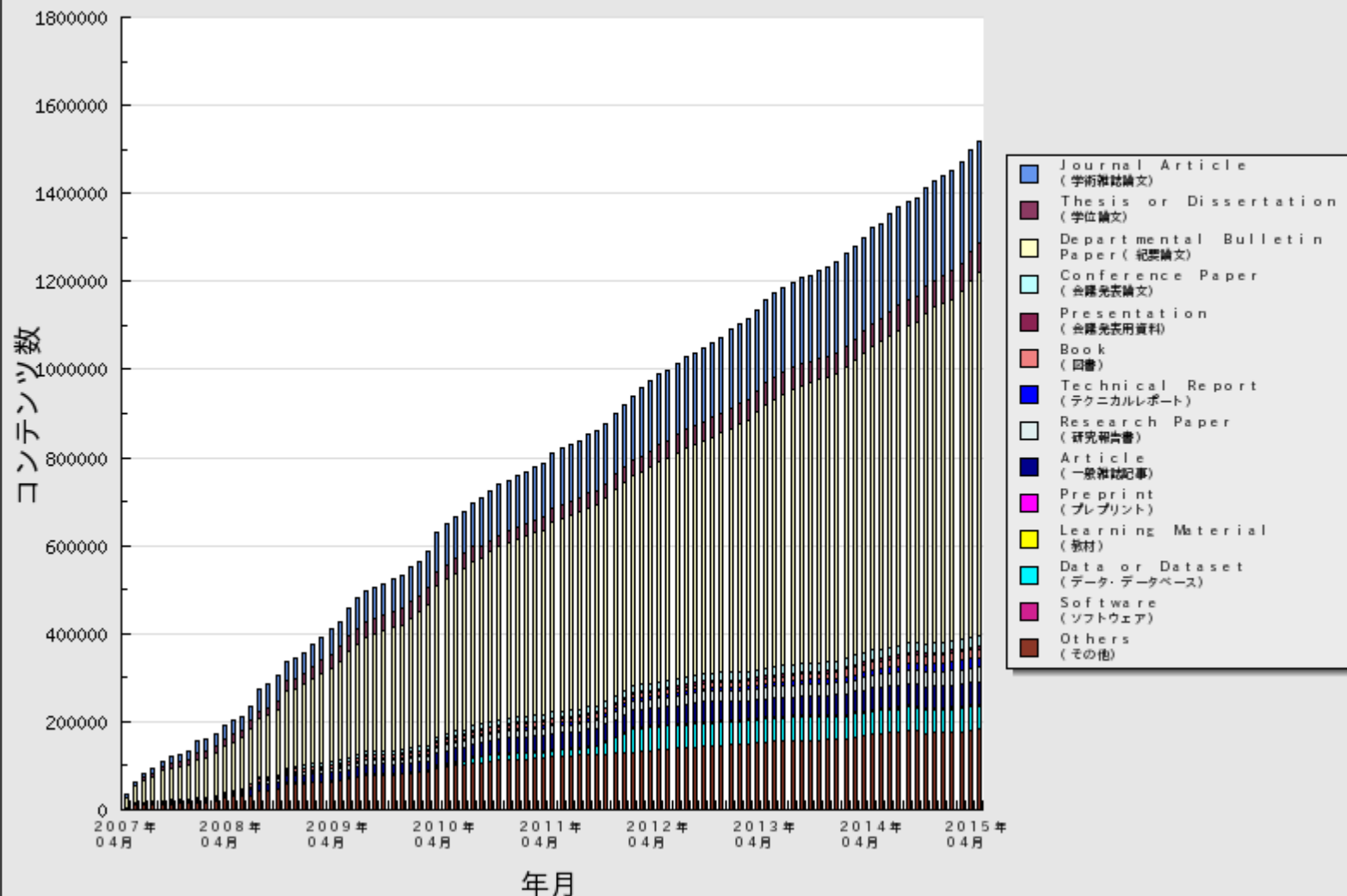
 本文ありと全体から選択できます。

※最新月 [2015/4] のコンテンツ数(本文あり)

※過去のコンテンツ数(本文あり)

IRDB 全体のコンテンツ増減 ( 本文あり )

# IRDB 全体のコンテンツ増減 ( 本文あり )



# JAIRO

- <http://ju.nii.ac.jp/>



Japanese Institutional Repositories Online

- お知らせ
- JAIROについて
- 利用方法
- お問い合わせ

- 良く利用されるコンテンツ
- IRDBコンテンツ分析
- JAIRO利用統計

[English](#)

簡易検索

詳細検索

2015/05/23現在 474機関 2,074,563件

☒ すべて ☐ 本文あり

お知らせ

- ユーザインターフェイスの見直しについて (2013/3/22)
- 本文ありコンテンツ数が100万件を突破しました。100万件目は鹿児島大学リポジトリのこの論文でした。(2012/06/01)

# CiNii

- <http://ci.nii.ac.jp/>



The screenshot shows the CiNii website homepage. At the top, there is a header with the CiNii logo on the left, navigation links "日本の論文をさがす" and "大学図書館の本をさがす" in the center, and "新規登録" and "ログイン" on the right. Below the header is a large white area with the CiNii logo and the text "日本の論文をさがす Articles". Underneath this is a teal-colored search bar area. It contains tabs for "論文検索" (selected), "著者検索", and "全文検索". To the right of these tabs is a link "大学図書館の本をさがす »". Below the tabs is a search input field containing the text "フリーワード". To the right of the input field is a "検索" button. Below the input field are three filter buttons: "すべて" (selected), "CiNiiに本文あり", and "CiNiiに本文あり、または連携サービスへのリンクあり". To the right of these buttons is a "詳細検索" link with a downward arrow icon.

CiNii 日本の論文をさがす 大学図書館の本をさがす 新規登録 ログイン

CiNii 日本の論文をさがす Articles

論文検索 著者検索 全文検索 大学図書館の本をさがす »

フリーワード 検索

すべて CiNiiに本文あり CiNiiに本文あり、または連携サービスへのリンクあり 詳細検索

# junii2は改定されるので注意

- ver. 1.0 (H18)
  - dc、dcterms、OpenURL (for Journal Articles)などの要素を取り入れている。textversion、fullTextURLなどが特徴的。
- ver. 2.0 (H23)
  - creator等に著者IDを追加(実証実験)
- ver. 3.0 (H25)
  - 学位規則改正(H25.4.1施行)、JaLC DOI等対応の拡張
- ver. 3.1 (H26)
  - 学位授与番号の改訂

# junii2

メタデータフォーマットjunii2(バージョン3.1) 各データ要素の入力内容一覧

凡例: 青=必須, 黄色=あれば必須 左記以外=各機関リポジトリのポリシーによる (赤字はバージョン3.0改訂時の変更箇所, 赤字は3.1改訂時の変更箇所)

番号	大項目	項目	element	内容	必須	繰返し可能	minOccurs	maxOccurs	書式(空白の場合は文字列)	xml:langにデフォルトとする ときの付与先	オプショナルの属性
1	タイトル	タイトル	title		必須	x	1	1		title	lang
2		その他(別題・副題)のタイトル	alternative	別題・副題のタイトルやタイトルの追加			0	unbounded		title	lang
3		作成者	creator		あれば必須		0	unbounded		creator	lang
4	主題	著者キーワード	subject				0	unbounded		subject	
5		国立情報学研究所 メタデータ主題語集	NISubject	下記URL参照 <a href="http://www.nii.ac.jp/metadata/nisui/10-category.pdf">http://www.nii.ac.jp/metadata/nisui/10-category.pdf</a>			0	unbounded		subject	version
6		日本十進分類法	NDC				0	unbounded		subject	version
7		国立国会図書館分類表	NDCG				0	unbounded		subject	version
8		日本丹式簿記	DSH				0	unbounded		subject	version
9		国立国会図書館丹式簿記表	NDSH				0	unbounded		subject	version
10		医学丹式簿記表	MSDH				0	unbounded		subject	version
11		デューイ十進分類法	DDC				0	unbounded		subject	version
12		米国議会図書館分類表	LCC				0	unbounded		subject	version
13		国際十進分類法	UDC				0	unbounded		subject	version
14		米国議会図書館丹式簿記表	LCDSH				0	unbounded		subject	version
15	内容記述	内容記述	description	論文の抄録 ※国書刊行版にあっては、巻名、巻数、頁数等 その他コンテンツの内容を示すことを記述			0	unbounded		description	
16		公開者	publisher	コンテンツ本体の公開を行った個人、組織、団体			0	unbounded		publisher	lang
17		寄与者	contributor	コンテンツ本体の作成に関与を持つ、個人、組織、団体			0	unbounded		contributor	lang
18		日付	date	コンテンツの作成日付			0	unbounded	YYYY-MM-DD, YYYY-MM, YYYY	date	
19		資源タイプ	type	コンテンツの種類(自由記述)			0	unbounded		type	
20	資源 識別子	国立情報学研究所 メタデータ主題語集 (資源タイプ)	NISype		必須	x	1	1	[ Journal Article   Thesis or Dissertation   Departmental Bulletin Paper   Conference Paper   Presentation   Book   Technical Report   Research Paper   Article   Preprint   Learning Material   Data or Dataset   Software   Others ]	type	
21		フォーマット	format	Internet Media Typeで規定されるファイル形式			0	unbounded		format	
22		その他の資源識別子	identifier	IS~20, 21項以外の資源識別子			0	unbounded		identifier	
23		資源識別子URL (アイテム番号照会へのリンク)	URI	コンテンツ本体を照会する照会へのURL	必須	x	1	1	URI	identifier	
24		本資料の電子アクセスのリンク	electronicURI	コンテンツ本体へのURL	あれば必須		0	unbounded		electronicURI	
25	識別 情報	JALDOI	doi:DOI				0	1	URI(Infused)で記述すること	identifier	id [ JAL   Crossref ]
26		ISBN	isbn				0	unbounded		identifier	
27		ISSN	issn		あれば必須		0	unbounded	N-1(N-14)(N-3)	identifier	
28		書籍コード(DC図書目録DG)	NGD		あれば必須		0	unbounded		identifier	
29		雑誌名	title	本タイトルのみ	あれば必須		0	1		identifier	lang
30	権利 情報	巻	volume		あれば必須		0	1			
31		号	issue		あれば必須		0	1			
32		開始ページ	beginPage	論文の開始ページ	あれば必須		0	1			前記の項目の上、 identifier
33		終了ページ	endPage	論文の終了ページ	あれば必須		0	1			
34		刊行年月	dateIssued		あれば必須		0	1	YYYY-MM-DD, YYYY-MM, YYYY	date	
35	情報源	情報源	source				0	unbounded		source	

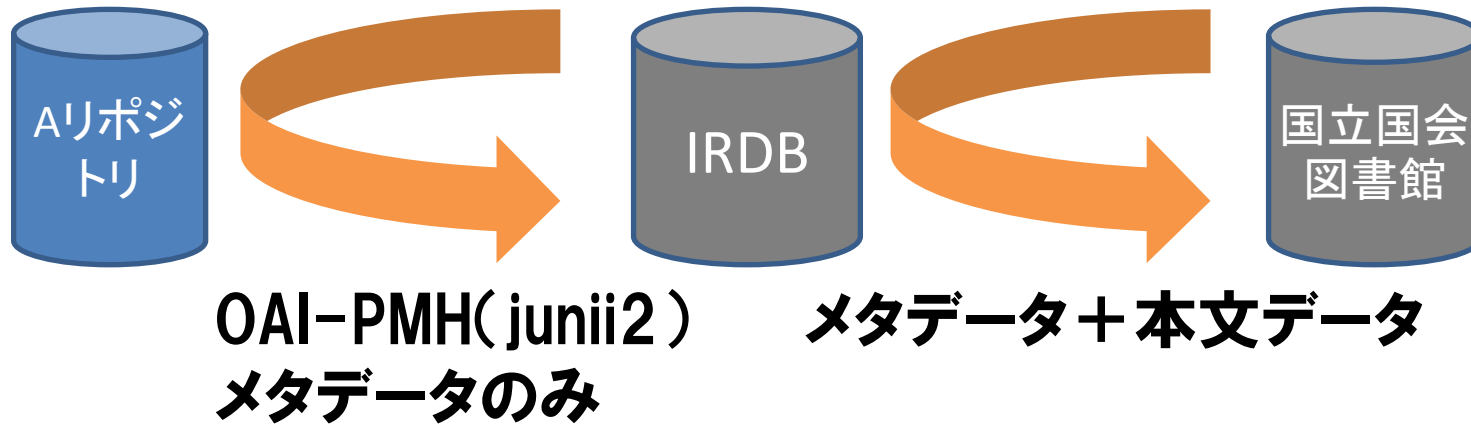
# junii2

## 付属書

### 国立情報学研究所メタデータ主題語集（資源タイプ）

項目	内 容	
Journal Article	学術雑誌論文	学術雑誌に掲載された論文
Thesis or Dissertation	学位論文	博士論文、修士論文等
Departmental Bulletin Paper	紀要論文	紀要類に掲載された論文 表紙や目次は Others とする。
Conference Paper	会議発表論文	会議の報告書等に掲載された論文 会議名、開催地、日時等は必要に応じて Description に記入する。
Presentation	会議発表用資料	会議で発表されたプレゼンテーション資料、ポスター、口頭発表資料等 会議名、開催地、日時等は必要に応じて Description に記入する。
Book	図書	図書の章(Chapter)も含む。
Technical Report	テクニカルレポート	テクニカルレポート、ディスカッションペーパー、ワーキングペーパー等の機関発行の報告書
Research Paper	研究報告書	科研費や COE 等、研究助成金による研究成果の報告書 種別（助成元、研究課題の種類）等は必要に応じて Description に記入する。
Article	一般雑誌記事	学術論文以外の記事（コラム等）
Preprint	プレプリント	プレプリント
Learning Material	教材	授業等で用いる資料類
Data or Dataset	データ・データベース	実験記録等のファクトデータ、及びそれらの集合からなるデータベース等

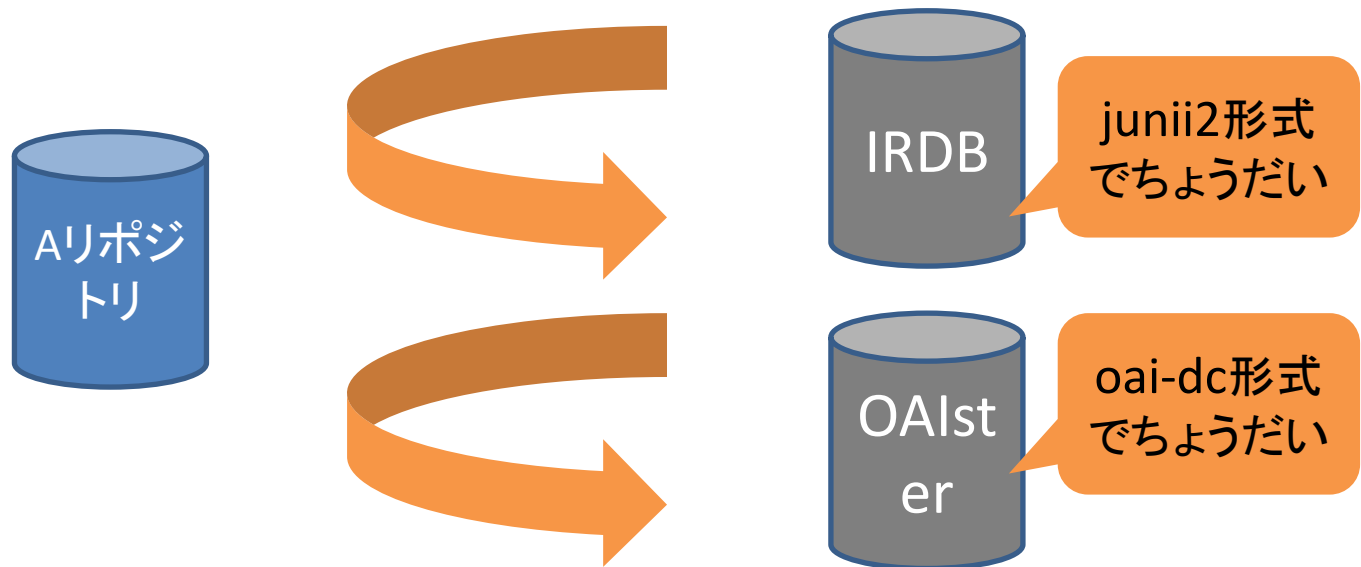
# 国会図書館の博士論文の収集



- 国立国会図書館は以下の条件で収集
  - Nltypeが "Thesis or Dissertation"
  - textversionが "ETD" でfulltextURIがある
  - dateofgrantedが "2013-04-01" 以降

# 多くの場所から検索できるように

- 他のサービスプロバイダからもハーベストされたい
- 各サービスプロダが求めるデータ形式は違う



サービスプロバイダたち

# クロスウォーク (crosswalk)

ID	2008078674
アイテムタイプ	Article
このアイテムを表示する	本文 2008078674.pdf Type : appli Size : 696.2 Last updated : Jul 11, 2008 Downloads : 18912 Total down
タイトル	【歩行】歩行の神経機構Re
著者	高草木薫 (Takakusaki K
上位タイトル	Brain Medical Vol.19, N
識別番号	ISSN 915-5759
抄録	歩行には3つのプロセスがあ であり、これは大脳皮質から 避、逃走など情動的のプロセ 与する。第3は、歩行時のリ る自動的のプロセスであり、肝 重要な役 て脳幹に
キーワード	歩行誘 脳性歩
注記	著者版
言語	jpn
資源タイプ	text
ジャンル	Journal Article

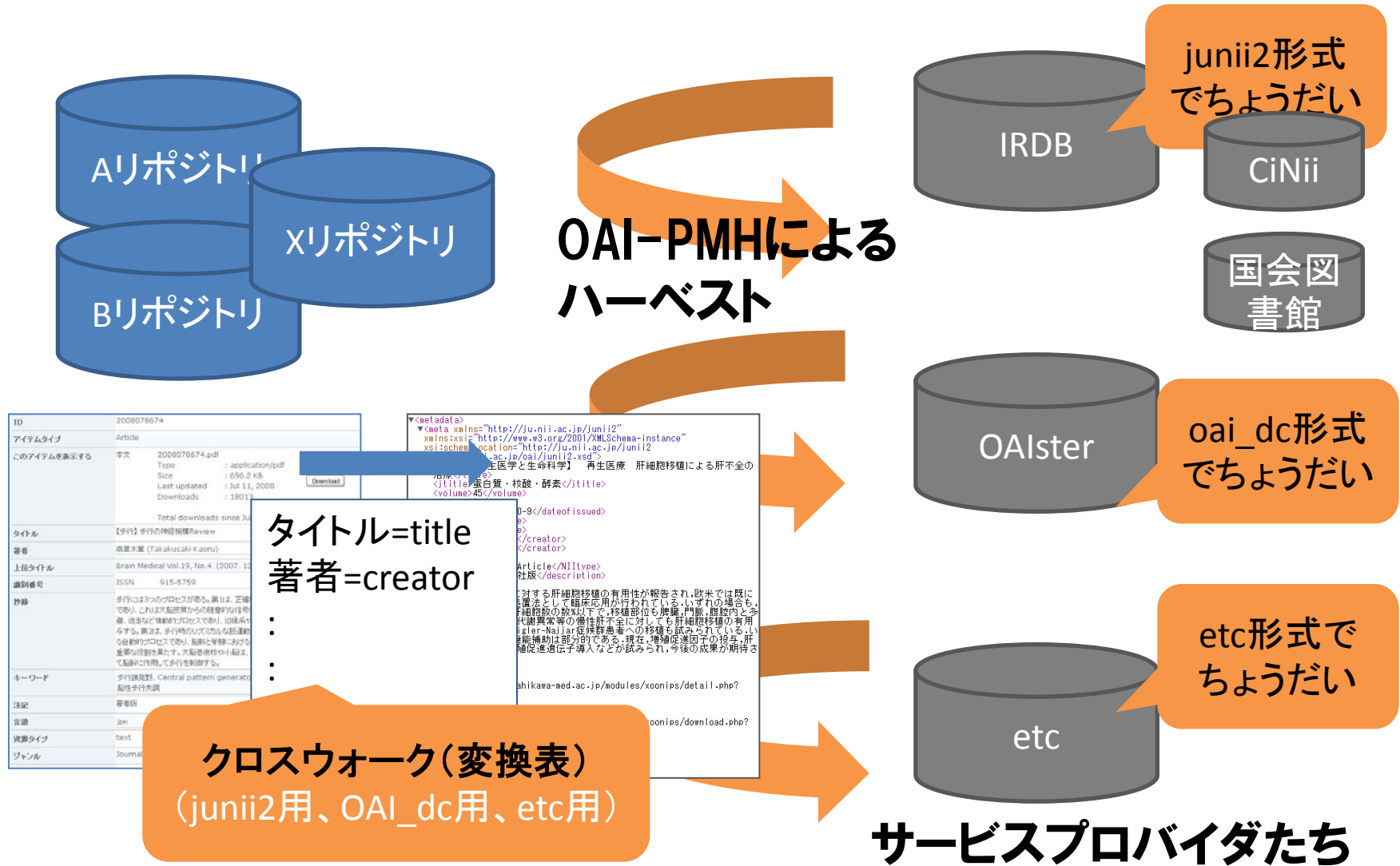
タイトル=title  
著者=creator

変換表=クロスウォーク  
(junii2用、oai\_dc用、etc用)

▼<metadata> ▼<meta xmlns="http://ju.nii.ac.jp/junii2" xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance" xsi:schemaLocation="http://ju.nii.ac.jp/junii2 http://ju.nii.ac.jp/oai/junii2.xsd"> <title>【再生医学と生命科学】 再生医療 肝細胞移植による肝不全の 治療</title> <jtitle>蛋白質・核酸・酵素</jtitle> <volume>45</volume> <issue>13</issue> <dateofissued>2000-9</dateofissued> <spage>2301</spage> <epage>2308</epage> <creator>葛西真一</creator> <creator>澤 雅之</creator> <type>text</type> <NIItpe>Journal Article</NIItpe> <description>出版社版</description> <description> 急性肝不全動物に対する肝細胞移植の有用性が報告され、欧米では既に 肝移植迄の経過処置法として臨床応用が行われている。いずれの場合も、 移植肝細胞は全肝細胞数の数%以下で、移植部位も脾臓、門脈、腹腔内と多 様である。先天性代謝異常等の慢性肝不全に対しても肝細胞移植の有用 性が報告され、Crigler-Najjar症候群患者への移植も試みられている。い ずれの場合も肝機能補助は部分的である。現在、増殖促進因子の投与、肝 幹細胞の同定、移植促進因子の導入などが試みられ、今後の成果が期待さ
es/xoonips/detail.php?
es/xoonips/download.php?
<textversion>document</textversion> <issn>0039-9450</issn> </meta> </metadata>

定義ファイルは各リポジトリサーバで設定

# 他システムとの連携の仕組み



# 連携を意識してメタデータを作成

- junii2の場合、textversion(あれば必須)
  - author:著者版
  - publisher:出版社版
  - ETD: 博士論文全文を含む
    - 修士、卒業論文には“ETD”は使用しない
    - 博士論文でも要旨・要約には“ETD”は使用しない
  - none:上記以外
- 特に、安易にデータを削除・変更しないよう
  - 連携先のシステムとの関係を確認(後述)

# DOI: これもシステム連携

- DOIは電子データなどに登録される国際的な識別子で、論文などの学術情報資源の識別子として広く使用されている。出版者が登録する

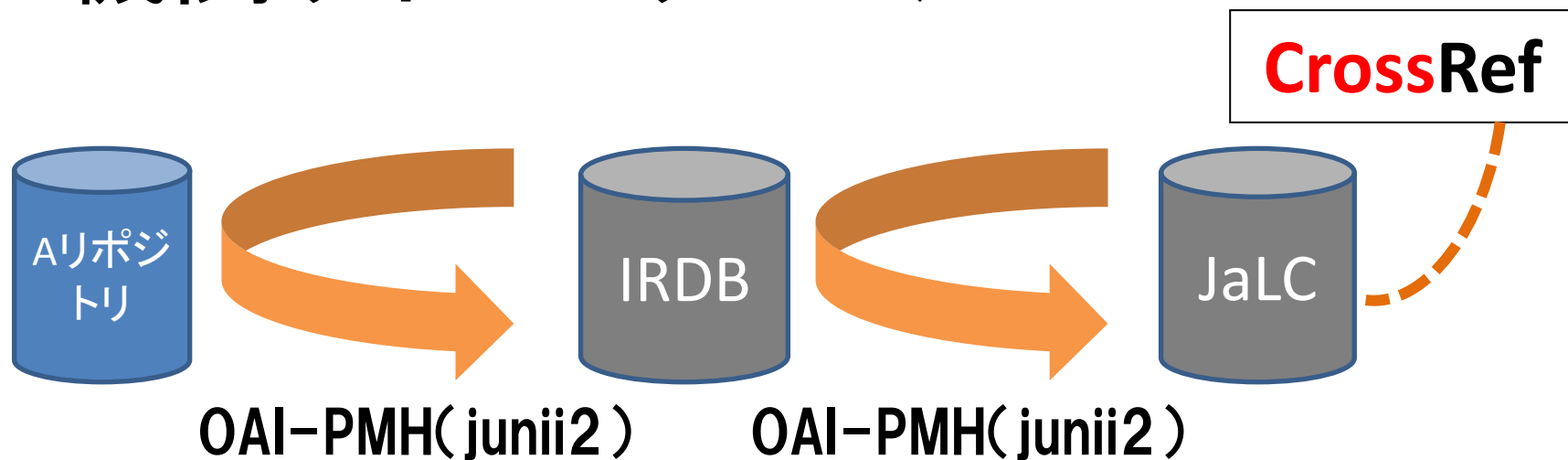
– 例) 10.1038/nchembio.1524

プレフィクス(出版社や機関)

サフィックス(コンテンツ)

- http://doi.org/に続けてDOIを入力すると論文のあるURLに自動転送される
  - 例) <http://doi.org/10.1038/nchemibio.1524>
  - <http://www.nature.com/nchembio/journal/v10/n6/full/nchembio.1524.html>

# 機関リポジトリコンテンツにDOI



- ジャパンリンクセンター(JaLC)は、日本初のDOI登録機関(RA)で海外学術出版社のRA、CrossRefとも連携している
- 機関リポジトリは、JaLCのDOIでも、CrossRefのDOIでも登録可能。ただしCrossRef DOIは有料

# 機関リポジトリコンテンツにJaLC DOI

- 登録方法は、NIIの「JaLCガイドライン」  
(<http://www.nii.ac.jp/irp/archive/system/jalc>)を参照
- 登録できるコンテンツ
  - 自機関で出版(学位授与)、または出版者から管理委託されたコンテンツ(紀要など)
  - 著者版コンテンツ
  - 1990年代の博士論文で、NDLで既にJaLC DOIを登録している論文は、リポジトリでもそれと同じDOIを登録する  
(**マルチプルレゾリューション**: 両方へのリンクが表示され選ぶことができる) 例doi:[10.11501/3111319](https://doi.org/10.11501/3111319)

# 本講の内容

- リポジトリと他システムとの連携の仕組み
  - メタデータ、OAI-PMH、junii2、クロスウォーク
  - IRDB、CiNii、国立国会図書館、OAIster
  - DOI
- 担当者がすること
  - プロバイダリスト等への登録(最初だけ)
  - システム的な確認・対処(日常的に)
    - OAI-PMHデータの確認
    - 削除してよいかよく考えよう
    - ログのチェック

# プロバイダリスト等への登録

- OAIデータプロバイダリスト
  - リポジトリを公開するとはこのリストに登録すること
  - 世界中のサービスプロバイダがこのリストを見てハーベストしにきてくれることになっている
  - ちゃんとハーベストできるかテストもできる
- ほか、利用拡大のために
  - IRDB（国内）
  - OAIster（→OCLC）
  - Google、Google Scholar

# プロバイダリスト等への登録(続き)

- 業界への周知(たしなみ)
  - － 世界のリポジトリリスト
    - ROAR: Registry of Open Access Repositories
    - OpenDOAR: Directory of Open Access Repositories
  - － 日本のリポジトリリスト
    - NII学術機関リポジトリ構築連携支援事業  
<http://www.nii.ac.jp/irp/list/>
- 機関オープンアクセス方針を定めた場合
  - － ROARMAP: Registry of Open Access Repository Mandates and Policies

# 具体的な登録方法はDRFwikiを

- 「リポジトリを育てる」→「より使われるために」の「可視性を高めるために」→startup  
(<http://drf.lib.hokudai.ac.jp/drf/index.php?startup>)



**Digital Repository Federation**  
startup

Top / startup [ List of pages | Search | Recent changes | Help ]

**DRFについて**

- DRFについて
- 参加機関
- メンバーリスト
- 第3期活動課題
- 月刊DRF
- 国際連携
- 研修
- DRF in English

**イベント情報**

- これらのイベント
- 終了したイベント
- 関連イベント
- List of Events
- OA Week 2014

**リポジトリをつくる**

- リポジトリをつくる
- 各機関運用指針一覧
- リポジトリシステムを試す
- 事例報告集

Digital Repository Federation

このページでは、機関リポジトリを立ち上げた際に、業界への広報や、利用の拡大のために登録依頼をすべきサイトを紹介します。

**必須**

**OAIデータプロバイダリスト**

- IRを立ち上げて最初にすべきことは、OAIデータプロバイダリストへの登録です。これに載ると、世界中のサービスプロバイダがハーストしにきてくれます。IRを公開するとはこのリストに載せることです。
  - OAIデータプロバイダリスト

**登録方法**

- Registering as a Data Providerの一番下に、IRのOAI-PMHのベースURLを入れて送信するだけです。(機械的なテストのみに登録されます。テストのみを受けることもできます。)
  - こちらにもわかりやすい登録方法が記載されています。→NII学術ポータル担当者研修(機関リポジトリの公開[平成22年度])

**業界への広報のために**

- Budapest Open Access Initiative (BOAI)

## 必須<sup>†</sup>

### OAIデータプロバイダリスト<sup>†</sup>

- IRを立ち上げて最初にすべきことは、OAIデータプロバイダリストへの登録です。これに載ると、世界中のサービスプロバイダがハーベストしにきてくれます。IRを公開するとはこのリストに載せることです。
  - OAIデータプロバイダリスト

### 登録方法<sup>†</sup>

- Registering as a Data Providerの一番下に、IRのOAI-PMHのベースURLを入れて送信するだけです。(機械的なテストののちに登録されます。テストのみを受けることもできます。)
  - こちらにもわかりやすい登録方法が記載されています。→[NII学術ポータル担当者研修\(機関リポジトリの公開\[平成22年度\]\)](#)

## 業界への広報のために<sup>†</sup>

- Budapest Open Access Initiative (BOAI)
  - オープンアクセスリポジトリを保有している大学や研究機関は機関署名できます。
  - 申込画面(Sign On)

# 本講の内容

- リポジトリと他システムとの連携の仕組み
  - メタデータ、OAI-PMH、junii2、クロスウォーク
  - IRDB、CiNii、国立国会図書館、OAIster
  - DOI
- 担当者がすること
  - プロバイダリスト等への登録(最初だけ)
  - システム的な確認・対処(日常的に)
    - OAI-PMHデータの確認
    - 削除してよいかよく考えよう
    - ログのチェック

# OAI-PMH出力の確認

- baseURL?verb=Identify
- baseURL?verb=ListRecords&metadataPrefix=junii2

## － 参考

- <http://www.nii.ac.jp/irp/archive/translation/oai-pmh2.0/OpenArchivesProtocol.htm>
- <http://www.openarchives.org/OAI/2.0/openarchivesprotocol.htm>
- <http://irdb.nii.ac.jp/oai/junii2-2-0.xsd>

# OAI-PMH出力の確認

- baseURL?verb=Identify 基本情報を教えて
- baseURL?verb=ListRecords&metadataPrefix=junii2 junii2形式でデータ全部出して
- baseURL?verb=ListRecords&metadataPrefix=oai\_dc&from=2015-06-15&until=2015-06-18  
2015年6月15日から6月18日までに登録・更新されたデータをoai\_dc形式で出して

# OAI-PMH出力の確認

- baseURLは各機関リポジトリで異なる
- 必ず確認しておこう

－ 例)

- 静岡大学SURE (DSpace)

<http://ir.lib.shizuoka.ac.jp/dspace-oai/request>

- 旭川医科大学AmCoR (Xoonips)

<http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/modules/xoonips/oai.php>

- 東北学院大学 (JAIR Cloud (WEKO))

[https://tohoku-gakuin.repo.nii.ac.jp/?action=repository\\_oaipmh](https://tohoku-gakuin.repo.nii.ac.jp/?action=repository_oaipmh)

<http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/modules/xoonips/oai.php?verb=Identify>

```
▼<OAI-PMH xmlns="http://www.openarchives.org/OAI/2.0/"
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
  xsi:schemaLocation="http://www.openarchives.org/OAI/2.0/
    http://www.openarchives.org/OAI/2.0/OAI-PMH.xsd">
  <responseDate>2012-09-16T13:00:37Z</responseDate>
  ▼<request verb="Identify">
    http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/modules/xoonips/oai.php
  </request>
  ▼<Identify>
    <repositoryName>amcor</repositoryName>
    ▼<baseURL>
      http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/modules/xoonips/oai.php
    </baseURL>
    <protocolVersion>2.0</protocolVersion>
    <deletedRecord>transient</deletedRecord>
    <granularity>YYYY-MM-DDThh:mm:ssZ</granularity>
    <earliestDatestamp>1970-01-01T00:00:00Z</earliestDatestamp>
    <adminEmail>amcor@asahikawa-med.ac.jp</adminEmail>
    <adminEmail>kusakabe@asahikawa-med.ac.jp</adminEmail>
  </Identify>
</OAI-PMH>
```

This XML file does not appear to have any style information associated with it. The document tree is shown below.

```
▼<OAI-PMH xmlns="http://www.openarchives.org/OAI/2.0/" xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:schemaLocation="http://www.openarchives.org/OAI/2.0/ http://www.openarchives.org/OAI/2.0/OAI-PMH.xsd">
  <responseDate>2012-09-16T15:06:26Z</responseDate>
  ▼<request verb="ListRecords" metadataPrefix="junii2">
    http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/modules/xoonips/oai.php
  </request>
  ▼<ListRecords>
    ▼<record>
      ▼<header>
        <identifier>amcor:id/2001005854</identifier>
        <timestamp>2011-06-24T07:09:56Z</timestamp>
        <setSpec>index3</setSpec>
        <setSpec>index3:index3805</setSpec>
        <setSpec>xnparticle</setSpec>
      </header>
      ▼<metadata>
        ▼<meta xmlns="http://ju.nii.ac.jp/junii2" xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:schemaLocation="http://ju.nii.ac.jp/junii2 http://ju.nii.ac.jp/oai/junii2.xsd">
          <title>【再生医学と生命科学】 再生医療 肝細胞移植による肝不全の治療</title>
          <jtitle>蛋白質・核酸・酵素</jtitle>
          <volume>45</volume>
          <issue>13</issue>
          <dateofissued>2000-9</dateofissued>
          <spage>2301</spage>
          <epage>2306</epage>
          <creator>葛西 真一</creator>
          <creator>澤 雅之</creator>
          <type>text</type>
          <NIIttype>Journal Article</NIIttype>
          <description>出版社版</description>
        </meta>
        ▼<description>
          急性肝不全動物に対する肝細胞移植の有用性が報告され、欧米では既に肝移植迄の経過処置法として臨床応用
          が行われている。いずれの場合も、移植肝細胞は全肝細胞数の数%以下で、移植部位も脾臓、門脈、腹腔内と多様
          である。先天性代謝異常等の慢性肝不全に対しても肝細胞移植の有用性が報告され、Crigler-Najjar症候群患
          者への移植も試みられている。いずれの場合も肝機能補助は部分的である。現在、増殖促進因子の投与、肝幹細
          胞の同定、増殖促進遺伝子導入などが試みられ、今後の成果が期待される
        </description>
        ▼<URI>
          http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/modules/xoonips/detail.php?id=2001005854
        </URI>
        ▼<fullTextURL>
          http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/modules/xoonips/download.php?id=2001005854
        </fullTextURL>
      </record>
    </ListRecords>
  </request>
</OAI-PMH>
```

# <http://barrel.i.h.otaru-uc.ac.jp/dspace-oai/request?verb=Identify>

```
▼<OAI-PMH xmlns="http://www.openarchives.org/OAI/2.0/"
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
  xsi:schemaLocation="http://www.openarchives.org/OAI/2.0/
http://www.openarchives.org/OAI/2.0/OAI-PMH.xsd">
  <responseDate>2012-09-16T13:00:47Z</responseDate>
  <request verb="Identify">http://barrel.i.h.otaru-uc.ac.jp/dspace-oai/request</request>
  ▼<Identify>
    <repositoryName>Barrel</repositoryName>
    <baseURL>http://barrel.i.h.otaru-uc.ac.jp/dspace-oai/request</baseURL>
    <protocolVersion>2.0</protocolVersion>
    <adminEmail>barrel@office.otaru-uc.ac.jp</adminEmail>
    <earliestDatestamp>2001-01-01T00:00:00Z</earliestDatestamp>
    <deletedRecord>persistent</deletedRecord>
    <granularity>YYYY-MM-DDThh:mm:ssZ</granularity>
    <compression>gzip</compression>
    <compression>deflate</compression>
  ▼<description>
    ▼<toolkit xmlns="http://oai.dlib.vt.edu/OAI/metadata/toolkit"
      xsi:schemaLocation="http://oai.dlib.vt.edu/OAI/metadata/toolkit
http://oai.dlib.vt.edu/OAI/metadata/toolkit.xsd">
      <title>OCLC's OAI Cat Repository Framework</title>
      ▼<author>
        <name>Jeffrey A. Young</name>
        <email>jyoung@oclc.org</email>
        <institution>OCLC</institution>
      </author>
      <version>1.5.48</version>
      <toolkitIcon>http://alcme.oclc.org/oaicat/oaicat_icon.gif</toolkitIcon>
      <URL>http://www.oclc.org/research/software/oai/cat.shtm</URL>
    </toolkit>
  </description>
```

平成27年度機関リポジトリ新任担当者研修

# deleteレコードの扱い

- OAI-PMHのサーバ設定

- persistent

**削除レコードの情報を永続的に出しますよ**

→ ハーベスタは差分データをハーベストしているので  
データを削除すると反映されない。

削除してはいけない。(DSpaceは「取り下げ」機能で対応)

- no

- transient

# 削除してよいかどうかよく考えよう

- OAI-PMHのハーベスタへの対応
- サーチエンジンへの対応

— Google



# 突発的“大人気”論文への対処

- Apacheのaccess\_logの確認
  - 当該論文へのアクセスを目で
    - 例：単一の端末から、毎分毎秒（攻撃、ウィルス感染PCから...）
- 正 → インタビュー、広報、...
  - 要因は？ログから特徴を見出す、著者に聞く
    - 例：Wikipedia、新聞、高名ブログ、...
- 不正 → ログ清掃、アクセス制限



2012 年 08 月 検索

ダウンロード数 231614 件 ( 学内: 1636 件)

	ダウンロード数	ダウンロード数(学内)	タイトル
1	5247	0	<a href="#">日本的なものゝの表象としての黒澤映画 -映画記号学的視点からのアプローチ-</a>
2	488	0	<a href="#">ca拮抗薬の分類と作用機序: ca拮抗薬の分子薬理学</a>
3	440	2	<a href="#">炭酸カルシウムを出発原料とした材料開発に関する基礎研究</a>
4	364	2	<a href="#">gタンパク質共役型受容体 (gpcr)シグナルの細胞内因子による活性調節機構の解明</a>
5	341	1	<a href="#">ハイブリッド薬ピモベンダンの薬理学</a>
6	321	2	<a href="#">電位依存性ca<sup>2+</sup>チャネルの分子薬理学とca拮抗薬の差異化</a>
7	284	0	<a href="#">頭頸部癌治療後の摂食嚥下リハビリテーションによる摂食嚥下機能とqolへの影響</a>
8	278	0	<a href="#">公開化学実験講座における色素化学の導入 -教材開発と意識調査研究-</a>
9	219	0	<a href="#">超重症児(者)に関する療育・教育研究の動向およびその諸課題について</a>
	219	0	<a href="#">孤立性収縮期高血圧と孤立性拡張期高血圧の予後に関する研究 -家庭血圧測定値を用いた検討-</a>
11	205	5	<a href="#">gタンパク質共役型受容体(gpcr)のカルボキシル末端を介したgpcr機能制御に関する研究</a>

# 日常的なチェック

- 障害予防、障害発見
  - ディスク領域
  - NIIによるハーベスティング結果通知
  - HANDLEが機能しているか (DSpace)
- 広報用
  - ROAR順位
    - <http://roar.eprints.org/>
  - スペイン高等科学院ランキング
    - <http://repositories.webometrics.info/>



# Repository Type matches any of "Research Institutional or Departmental" AND Country matches any of "Japan"

Japan (131) | Any Software | Research Institutional | Sort by activity (medium) | Search

Displaying results 1 to 20 of 131.  
1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | Next

Export 131 results as Activity table | Export

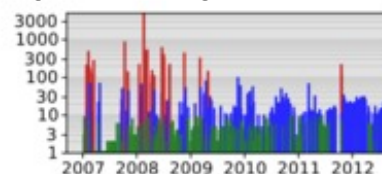
RSS 1.0 | Atom | RSS 2.0

Search Content | Graphical analysis

1.



## Deposit Activity

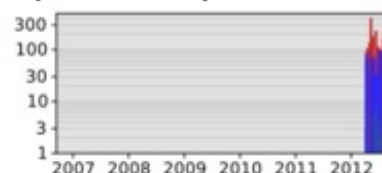


Nagasaki University's Academic Output  
SITE:NAOSITE (22686 records) - 24 April 2006  
[\[Record Details\]](#)

2.



## Deposit Activity

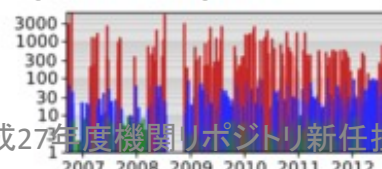


T2R2 (Tokyo Tech Research Repository) (8262 records) *Tokyo Institute of Technology* - 1 December 2006  
[\[Record Details\]](#)

3.



## Deposit Activity



Kyoto University Research Information Repository  
(124264 records) - 18 August 2006  
[\[Record Details\]](#)

平成27年度機関リポジトリ新任担当者研修

# Repository Type matches any of "Research Institutional or Departmental" AND Country matches any of "Japan"

Japan (131) ▾ Any Software ▾ Research Institutional ▾ Sort by activity (low) ▾ Search

Displaying results 1 to 20 of 131.  
1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | Next

Export 131 results as Activity table ▾ Export

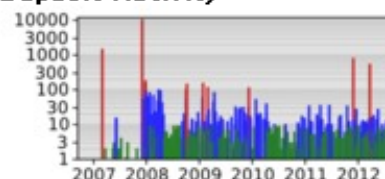
RSS 1.0 Atom RSS 2.0

✂ Search Content ✂ Graphical analysis

1.



## Deposit Activity

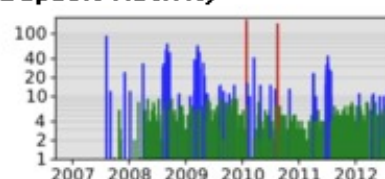


HERMES-IR : Research & Education Resources  
(18662 records) *Hitotsubashi University* - 2 March 2007 [Record Details]

2.



## Deposit Activity

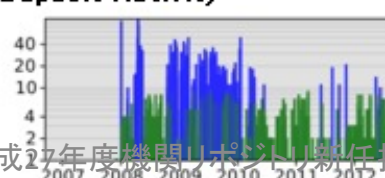


AMCoR(Asahikawa Medical College Repository)  
(4475 records) *Asahikawa Medical College* - 28 February 2007 [Record Details]

3.



## Deposit Activity



Barrel (4346 records) *Otaru University of Commerce* - 23 November 2007 [Record Details]

平成27年度機関リポジトリ新任担当者研修

# RANKING WEB OF REPOSITORIES

Universities

HOME

AFRICA

AMERICA

ASIA

EUROPE

OCEANIA

RANKING BY AREAS

TOP INSTITUTIONALS

TOP PORTALS

[Home](#) » Japan

## About Us

- [About Us](#)
- [Contact Us](#)

## About the Ranking

- [Methodology](#)
- [Objectives](#)

## Resources

- [Best Practices](#)
- [Links](#)



## Japan

ranking	World Rank ▲	Instituto
1	43	<a href="#">Kyoto University Research Information Repository</a>
2	82	<a href="#">Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers</a>
3	91	<a href="#">JAMSTEC Repository Japan Agency for Marine-Earth Science and Technology</a>
4	95	<a href="#">Kyushu University Institutional Repository</a>
5	117	<a href="#">University of Tokyo Repository</a>
6	126	<a href="#">(1) Okayama University Scientific Achievement Repository</a>
7	196	<a href="#">Nagasaki University Academic Output NAOSITE</a>
8	200	<a href="#">Kanazawa University Repository for Academic Resources</a>
9	203	<a href="#">Kumamoto University Repository</a>
10	209	<a href="#">Chiba University Repository</a>

# さいごに

- あらゆる技術、ノウハウは、ほんのわずか先に着手した人たちが模索＋確立してきたもの
  - OAI-PMH仕様(2002→日本語化2003-2004)
  - DSpace/EPrints実装実験(2004)
    - Cf. 日本目録規則(1943)、目録情報の基準(1986)
- みな、普通の図書館職員が作り上げてきた
  - 「不便」「こうなるとよい」と思ったら開発・整備に参加しよう(IR推進委員会、DRF、JCコミュニティ)
- IR構築、コンテンツ収集のノウハウも然り